

地域の公共施設の未来を考えるワークショップ第2回

幸区 | 開催結果まとめ

開催概要

○実施日時・場所

・ 2024 年 2 月 10 日（土） 14:00～17:00

○場所

・ 幸区役所 4 階 第 1～4 会議室

○参加人数

・ 参加者 22 名（事前申込 43 名、欠席者 21 名）

○アンケート回答者数

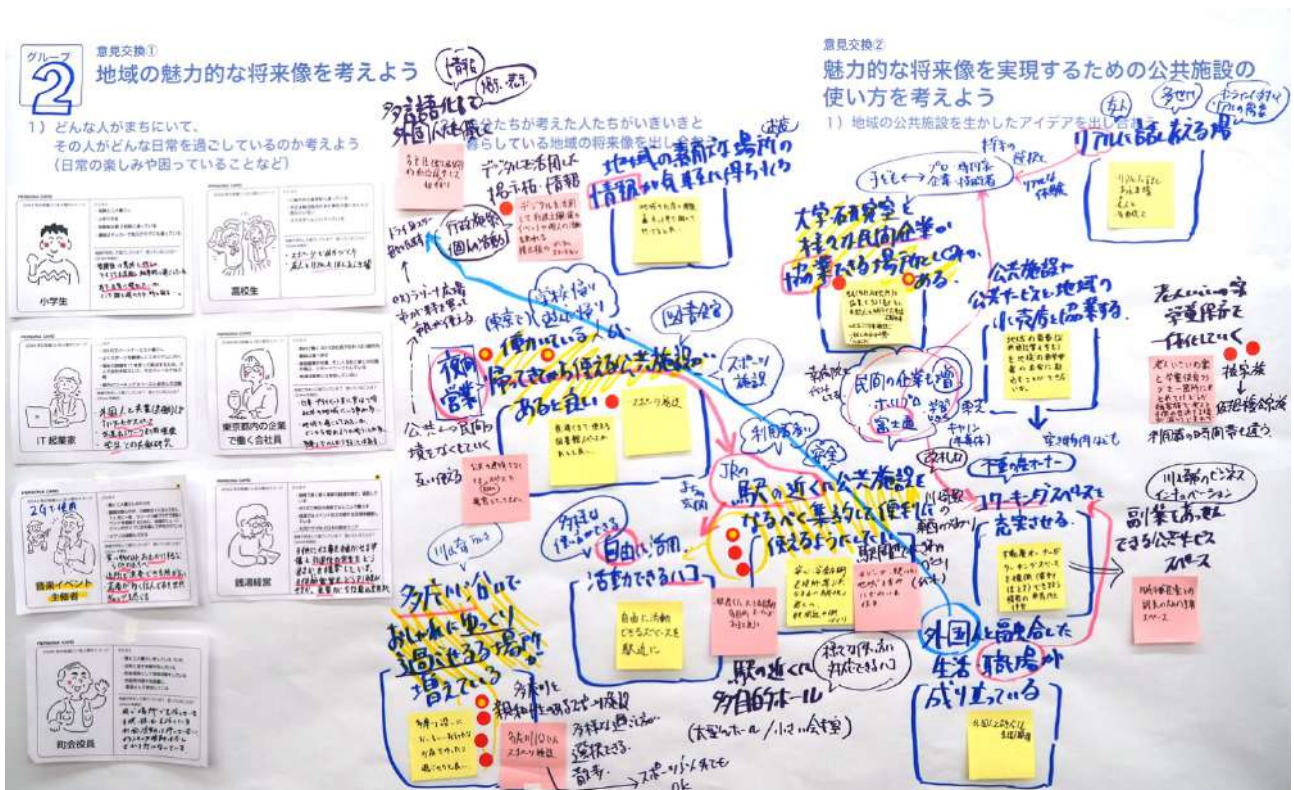
・ 22 名（100 %）



結果の概要

グループ	グループのまとめ
2G	「JR 川崎駅の近くに便利な公共サービス、施設を集約する」 駅近くの（可変できる自由な）多目的ホール・にぎわいづくりのアクション、改札もセットで回遊性つくる 「働いている人（単身者が少ない）が帰ってきてから使える場所があると良い」 公共施設⇄民間施設の境をなくした運用をしよう→（例）場所を市が借りて市民へ 「市内、区内の様々な民間企業と協業した新たな働き方」 大学との連携、子どもの体験、コワーキングスペース、国際交流できる働き方 「多摩川沿いはおしゃれでゆったり過ごせる場所に」 水辺と親和性のあるスポーツ、散歩などのゆっくりした過ごし方→多様な選択肢から選べる
3G	「困ってる人も助けたい人もすぐにつながるために、マッチングできるしくみがあるまちに」 「高齢になっても安心して、自分らしく生きられるために、多様なサービスが集約されたエリアづくりをする」 「今の資源を最大限に活用し、多様なニーズに対応するため、歩いて行ける身近な学校をよりフレキシブル（時間、空間、目的）に活用する」
4G	「土手が人の憩える場所になる」 水辺にベンチがあるだけでも良い。デートスポットになったり、桜が植えられていたり、馬に乗れるなどのアクティビティがあると良い。 「河原町団地の建替タイミングで、暮らす人も周辺の人も集える場になると良い」 「既存施設をより活用するために、PR を強化したり、企業と連携を深めたり、多目的化をすることが大切」
5G	「老人いこいの家の利用時間をもっと遅くまでにして若い人も使えるようにする。ネーミングも検討が必要」 「学校開放や老人いこいの家の申し込み方法など、公共施設を借りる場合の方法を明確にして周知する」 「市民が気軽にトレーニングできる場所をもっと増やして、健康寿命を延ばす」 「施設数は増やさなくてよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるようにしていくことが大切」 子どもだけでも集会所が利用できるなど
6G	・多世代が集まる場、見守りから集える場「図書館をおしゃれなコミュニティカフェに」 ・多世代が集まれる場、企業と地域を結ぶ場が必要…「企業と連携して、教室が開かれる」見守りロボット教室 ・外から人を呼び込む仕組みとして…「多摩川エリアを集いの場に」エリアとしてブランディングする ・気軽に出入りできる場所がわからない…「入口に何をやっているのか一目でわかるシンボル、掲示板がある」

■ 2 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20 年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう (日常の楽しみや困っていることなど)

黄塗りは幸区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
小学生 ・放課後では意外と忙しい、で IT も活用し、効率的に過ごしている ・外で元気に遊びたいが、どこで誰と遊べるか、時々困る	高校生 ・スポーツで体力づくり ・友人とリアルに話し合える場	IT 起業家 ・外国人と協業 (共働) しやすいワーキングスペース ・高度ネットワークの利用環境 ・学生との共同研究
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
東京都内の企業で働く会社員 ・仕事・プライベート共に実は川崎以外の地域にすることが多い ・地域で過ごしてみたいが、どこから始めようか迷うことが多い ・多摩川でのんびりすることはある	音楽イベント主催者 ・買い物のみ、おでかけするなら他のまちへ ・近所で演奏できる所がない ・若者が多く住んでおり、世代ギャップを感じる	銭湯経営 ・子供に仕事を継がせる準備と引退後の余生をどう送るかを模索している ・子供に家業をどう引き継がせるか ・需要が今後見込まれるか
ペルソナ 7		
町会役員 ・同じ場所で生活している ・子供・孫も生活している		

・町会活動は行っていない ・ボランティア活動はなし、される方になっている		
---	--	--

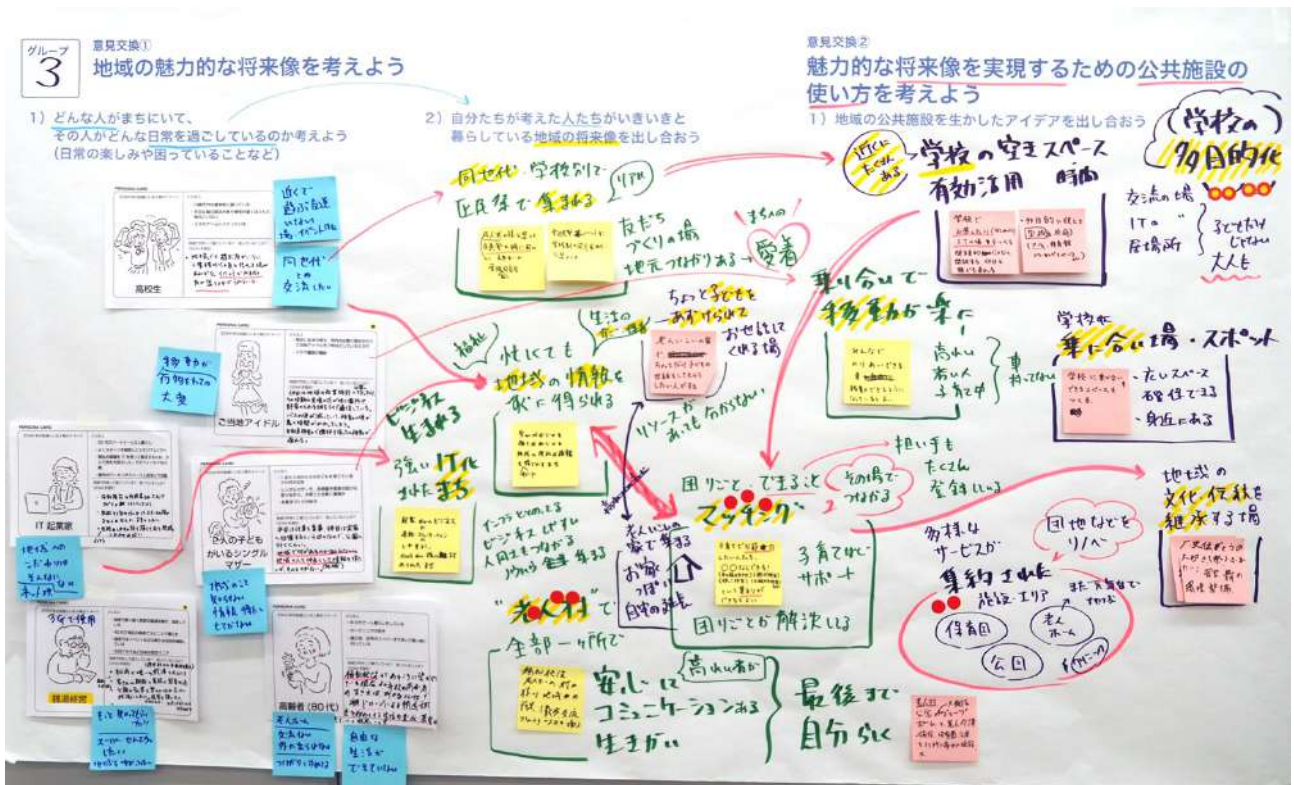
1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●地域の素敵な場所、お店の情報が気軽に得られる ・地域のお店情報をネット等で調べて行けると良い	●デジタルを活用した掲示板や情報発信ツールの充実（●1） ・デジタルを活用して行政主催のイベントや個人の活動を知れる、掲示板→デジタル、スマートフォン ・行政施策や個人の活動の両方が集約されている ●多言語化して外国人に優しくされた情報発信 ・情報、掲示・表示 ・多言語の自治体サービス
●多摩川沿いでおしゃれにゆっくり過ごせる場所が増えている ・川崎らしさ ・多摩川沿いにおいしいおしゃれなお店でゆったり過ごせると良い	●多摩川で水辺と親和性のあるスポーツ施設、多様な過ごし方が選べる（◎1●3） ・多摩川沿いのスポーツ施設 ・散歩などスポーツ以外でも OK
●大学・研究室と様々な民間企業が協業できる場所としくみがある（◎1●1） ・子ども⇄プロ、専門家、企業、技術者 ●外国人と融合した生活・職場が成り立っている ・外国人と融合した生活・職場	●コワーキングスペースを充実させる ・民間（ホリプロ、富士通、学習塾、キャノン、）の事業者も増 ・幸病院もイベントしている ・不動産オーナーがワーキングスペースを提供（借料はとる）できるよう共有代と仲介 ●公共施設や公共サービスと地域の小売店と協業する ・地域の需要（公共施設等も含む）を地域の自営業のお家に組み込む ・空き物件 ●副業をあっせんできる公共サービススペース ・川崎市のビジネスインキュベーション
●働いている人が仕事から帰ってきてから使える夜間営業の公共施設があると良い（図書館、スポーツ施設）（◎2●1） ・夜遅くまで使える図書館スペースがあると良い ●JR の駅近くに公共施設をなるべく集約して便利に使えるようにしたい（◎1●2） ・利用者多い	●公共⇄民間の境をなくしていく、互いに使える ・公共の建物でなくても民間のスペースで運営 ・例 ラゾーナ広場で市が買って市民が使える ・トライ & エラー、いろいろ試す ●駅の近くに多目的ホール（大型のホール、小さい会議室） ・様々な使い方に対応できるハコ

・安心安全な街へ ・改札口 ・川崎駅の東西のつながり ・ラゾーナ、駅、地域を含めたにぎわいづくり（イベント） ●多様な使い方ができる、自由に活用・活動できるハコが充実している(◎1●3) ・自由に活動できるスペースを駅近に	
●友人や多世代とリアルに話し合える場が充実している ・オンラインに対してリアルの需要	
	●老人いこいの家と学童保育を一体化していく(●2) ・核家族→仮想複合家族 ・核家族で老人と子どもの交流する機会が減っている ・利用者の時間帯も違う

グループのまとめ		
JR 川崎駅の近くに便利な公共サービス、施設を集約する ・駅近くの（可変できる自由な）多目的ホール・にぎわいづくりのアクション、改札もセットで回遊性をつくる	働いている人(単身者が少ない)が帰ってきてから使える場所があると良い ・公共施設⇄民間施設の境をなくした運用をしよう→(例)場所を市が借りて市民へ	市内、区内の様々な民間企業と協業した新たな働き方 ・大学との連携、子どもの体験、コワーキングスペース、国際交流できる働き方
多摩川沿いはおしゃれでゆったり過ごせる場所に ・水辺と親和性のあるスポーツ、散歩などのゆっくりした過ごし方→多様な選択肢から選べる		

■ 3 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは幸区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
高校生 ・ 地域では遊ぶ友がいない ・ 小学校時代の友と話せる場があると良い ・ イベントで同世代の友が集まればうれしいな ・ 近くで遊ぶ友達がいない ・ 場やイベントほしい ・ 同世代との交流したい	ご当地アイドル ・ 休日は地域の商業施設へ公演に行ったり、その時期の見頃の花が咲く場所や野菜のとれる畑をライブ配信している ・ バスの便が減っていて、移動の便が悪く時間がかかってしまう ・ 自転車移動でライブ用の機材を持つての移動が疲れる	IT 起業家 ・ 福祉施設と利用者のマッチングアプリがうまくいっている ・ 結婚する気はないが、パートナーとの間に子どもはほしい、子育てしたい ・ 生活のしやすいところ＝IT インフラが整っているところを探しており地域にこだわりはない ・ ネット環境が大切
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
2人の子どもがいるシングルマザー ・ 平日は仕事と育児、休日は実家へ往復するという日々なので、公園へ行くぐらい ・ 地域で何があるのか知らない	銭湯経営 ・ 幸区内で唯一の銭湯となっている ・ 皆さんの期待と裏腹に経営は逼迫している（入浴料金統制もなくなり）	高齢者（80代） ・ 福祉施設があちこちに築かれている現在、20年後の高齢者の生き方は街の変化は？ ・ ドローンによる輸送・調査を初めとする生活の変化はいちじるしいと思います

・地域の人と仲良くして地域情報を得たいが、そのヒマがない	・父親は現状を残すことを望んでいるが、スーパー銭湯にしたい。でなければ経営を譲りたい ※大きなイベントをやって、地域を呼び込み、集客するためにも	・老人ホームでは交流がない。外に出られない。自由な生活ができていない ・つながりを求めている
--	---	---

1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●高齢者が安心して、最後まで自分らしく暮らせるまち(●3) ・高齢者が安心してコミュニケーションが取れる ・生きがいがある ・最後まで自分らしく生きられる ・公営のグループホームと老人介護施設、保育園、公園を一か所に集める	●団地などをリノベーションして、多様なサービスが集約された施設・エリアをつくる(●2) ・団地などをリノベ ・保育園、公園、老人ホーム、クリニックなど
●困りごととできることがマッチングできる(●3) ・その場でつながる ・担い手もたくさん登録している ・子育てなどサポート ・困りごとが解決している ・子育てでお節介したい人たち、〇〇ならできる！（本の読み聞かせ、遊ぶ、抱っこ、お絵かきなど）という集まり ●忙しくても福祉、生活、介護、保育などに関わる地域の情報をすぐに得られる ・学びながらも、働きながらもすぐに	●学校の多目的化(◎4) ・交流、IT の場、居場所 ・子どもだけではなく大人も ●近くにたくさんある学校の空きスペースや時間を有効活用する ・学校でお茶、おしゃべり、IT の場 ・閉鎖的ではなく開放的に ・休日でも誰でも来れる ・校庭、プール、体育館を多目的に使えるように ・コワーキングスペース ●老人いこいの家などで、少しの間、子どもを預けてお世話してくれる場・プログラムをつくる ・老人いこいの家でちょっとだけ子どもの世話をしってもらう、したい人がする ・リソースがあっても分からない ・老人いこいの家→お家っぽい自宅の延長
●IT 化されたまち ・インフラが整っている ・ビジネスが生まれる機会に ・起業などのビジネスがしやすい ・連絡、コミュニケーションしやすい ・人同士もつながる ・ノウハウ集まる ・ストレスがない、強い IT 化されたまち	
●乗り合いで移動が楽なまち ・高齢者、若者、子育て中は車を持っていない ・みんなで乗り合いできる。移動できるようになっていると良い	●学校に乗り合い場、スポット ・広いスペース確保できる ・身近にある

●同世代・学校別で区民祭でリアルに集まれる ・成人式の学校別同窓会のような集まりを区民祭の時に ・友達づくりの場、地元のつながりがある ・まちへの愛着になる	
	●地域の文化、伝統を継承する場 ・伝統の大切さ ・祭り、ふえ、太鼓、習字、舞の環境整備

グループのまとめ		
困っている人も助けたい人もすぐにつながるために、マッチングできるしくみがあるまちに	高齢になっても安心して、自分らしく生きられるために、多様なサービスが集約されたエリアづくりをする	今の資源を最大限に活用し、多様なニーズに対応できるように、歩いて行ける身近な学校をよりフレキシブル（時間、空間、目的）に活用する

■ 4 グループ

グループ 意見交換①
4 地域の魅力的な将来像を考えよう

1) どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう
(日常の楽しみや困っていることなど)

2) 自分たちが考えた人たちがいまいと暮らしている地域の将来像を出し合おう

意見交換②
魅力的な将来像を実現するための公共施設のあり方を考えよう
公共施設を生かしたアイデアを出し合おう

The wall display is a comprehensive record of the group's discussion. It includes a central mind map with branches for different themes. The sticky notes are organized into several main sections:

- Public Facilities (公共施設):** This section discusses the role of public facilities in the community. Notes include "Public facilities are the backbone of the community" (公共施設は地域の backbone) and "We need to think about how to use public facilities more effectively" (公共施設をどう活用するかを考える).
- Community (コミュニティ):** This section focuses on building a strong community. Notes include "We need to create a sense of belonging in the community" (コミュニティに帰属意識を創出する) and "We should encourage more people to participate in community activities" (コミュニティ活動に参加する人を増やす).
- Future Vision (将来像):** This section outlines the group's vision for the future. Notes include "We want to create a vibrant and lively community" (元気で活気あるコミュニティをつくる) and "We should focus on creating a sustainable future" (持続可能な未来を創出する).

The sticky notes are color-coded and contain specific ideas and observations. For example, one note says "We need to think about how to use public facilities more effectively" (公共施設をどう活用するかを考える). Another note says "We should encourage more people to participate in community activities" (コミュニティ活動に参加する人を増やす). The display is a visual representation of the group's collective thoughts and ideas.

意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは幸区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
高齢者（80代） ・古市場に住んでいる ・歩道、自転車、通交の安全性や整備に関心がある ・老人公共施設に趣味（文化サークル）の仲間がいる ・孫と近くの公園に出かける	町会役員 ・同一世代者の減少による不安 ・町会役員と若者世代とのつながりの必要性が問われる ・各地域職員との連携 ・こまったときに地域を超えて連携できるとよい	銭湯経営 ・お客が減り銭湯も老朽化 ・建て替えるお金もなく緊迫 ・投資を行い、生活する分はなんとか確保している
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
IT 起業家 ・区役所へ行かなくても手続きできると良い ・バスケしたいが、やる場所が少ない ・ネットワークイベントはいつも東京で行われている ・オペラやバレエは川崎にない ・おしゃれなコアワーキングスペースでネットワーキングしたい	高校生 ・成人となるときに地元の友人は多くないかもしれない ・スマホゲーム等では無く自分なりの将来人生設計をよく考えてほしい	ご当地アイドル ・「音楽のまち」だからもっと活動しやすいと思っていたが、結局都内のライブハウスに出るしかなく、ご当地感が出ない ・そもそも「幸区らしい」アイドルに限界を感じている
ペルソナ 7	ペルソナ 8	ペルソナ 9
小学生 ・バスケする場所が少ない ・IT スキルを学びたい ・もっと公園がたくさんあると良い ・図書館で勉強できない ・もっとおしゃれだと良い	音楽イベント主催者 ・南河原町に住んでいる ・楽器店（ラゾーナ島田楽器やミュージアのレンタルルームを借りた演奏練習が忙しい ・仲間とのライブ打合せに近くの喫茶店などでよく会合を行う ・音楽大学関係者との交流が増加する ・夫妻で老後の年金・保険・医療の話をする	夫婦二人の世帯 ・近所の友人と休日はお茶をして過ごしている ・体を動かすことが減り、肥満がみ
ペルソナ 10		
町会役員 ・自分の出身地であり、いわば「愛」で活動しているのだが、家族には少し理解されていない ・転入者が多く、町会へ積極的に参加してもらえない		

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●スポーツセンターやまち中で様々なスポーツの練習ができている ・「スポーツセンター」でバスケやテニスのサーブ練習など各種の欲求を満たしてくれる ・好きなものでつながりができる ・バスケコートがまち中にある	●スポーツセンターを多種目の競技が練習できる場所にする ・スポーツセンターの多種目練習場化（フル活用）
●みんなが資金を出し合って運営しているスペースができている(●1) ・スポンサーがいる ・企業、市政、個人など割り勘や援助で安くスペースを活用できるようになる ・スポーツ、音楽などができる場 ・ストリート系の練習場所 ・オンラインでのコミュニティがあるとよい ・若い人が使いやすい場所があったらよい ●新しいことにチャレンジできる場所がある ・新しい事にチャレンジできるリアルな場所がある ・マイナースポーツ→セパタクロー？ ・e スポーツなど	●市民プールが復活すると良い ・市民プールをつくる ●公共施設の利用料をとる ・区役所、学校、図書館など利用料をとってよりオープンになると良い ●学校の空き教室などの活用がより進むと良い ・音楽室がライブハウスに、体育館が競技場に（学校） ・廃棄する食品物を使って料理教室などを行う ・学校や空きスペースの活用促進
●役所の手続きが全てオンラインになっている ・役所の手続きはすべてオンラインで完結	●全ての公共施設がオンラインで空き状況を確認したり、予約できると良い ・全ての公共施設の空いている会議室や体育館をオンラインで予約、入退室管理システム Akerun で管理 ・オンラインで予約ができるようにする
●ラゾーナは段差がないから人がたくさん集まる ・ベビーカーでも買い物に行きやすい	
●気軽に情報交換できる掲示板があり、仲間を探せる窓口になるとよい ・交流できるイベントが増え、どこで開催されているのか、残りの求人数が分かる（毎日） ・老人の友だち作り、サークル活動募集など、HP でクイック検索できる ・チラシをオンラインで閲覧できると良い ・地域や世代を超えて交流がある ・日々の中で行事への顔出しと声掛けを行い、互いの悩みを解決させる ・各施設の利用	
●地域の人が先生になったり、プロから学べたり、経験の共有する場があるとよい ・アマチュアがプロに気軽に聞ける機会がある	●コミュニティ保育士がいる託児所があるとよい ・コミュニティ保育士 ・託児できる場所があるとよい

・学び、エンタメ、部活とか ・企業が支援して関わりやすくなるとよい	・世代を超えた交流ができる ●こどもセンターの機能を増やす(◎1) ・こどもセンターの複合利用（Wi-Fi 化）で自習室やノート PC 持込可などニーズ対応
●IT 人材が集まるシリコンバレーがある ・IT 人材が集まるシリコンバレーのような町に ・ネットワーキングイベントが川崎でたくさん ・おしゃれなコワーキングスペースがたくさん	●イノベーションセンターがある(◎1) ・イノベーションセンターをつくる ・IT 企業、投資家、自治体が集まる ・新しいことにチャレンジできる場所 ・1 箇所にまとまっている
●自宅以外でも好きなことをして過ごせる、落ち着ける場所がある ・趣味ができる場所 ・作業できる場所 ・友人とお茶を飲める ・勉強できる場所 ・自宅以外にも落ち着くことができる空間がある	●公共施設をもっと PR してほしい ・若い世代と老人世代の交差する要望を調整し、ともに過ごせる場所づくり（臨海部・多摩川など） ・使い方を含めて発信、身近なのに身近じゃない ●図書室が自習室になるとよい ・大きくておしゃれな図書館をつくる ・席を増やす ・本をタブレット化して、場所を捻出できないか
	●施設名に利用者を限定するような言葉を入れない(●1) ・老人施設と小さな子供施設の接近配置 ・子ども文化センターの“子ども”、老人いこいの家の“老人”を取ったようなスペースづくり
●オペラやバレエが川崎で見れる ・オペラやバレエが川崎で見れる	●音楽に触れられる場所の創出(◎1) ・「音楽のまち」らしく楽器練習の場や音楽人の集まる場所を創出する（既存施設の利用可） ●河原町団地を住宅だけではなく、おしゃれな複合施設ができるとよい(◎1●2) ・河原町団地をもっとおしゃれに ・オペラ、レストラン、カフェなどがある ・市営住宅を多目的スペース化し、家は 3D プリンタで作る、安く、貸します（市、企業、個人） ・合築施設の検討を図りスペース活用
	●公共施設をつなぐ交通網がある ・メイン施設を決める中で巡回交通網を無料で実施していく
●公園がたくさんある ・公園がたくさん ・大きくて自由度のある公園がある ・代々木公園とか	●広い公園が整備されている(●1) ・公園を整備し、2~3 段のスペース（公園）にする ・セントラルパークのような大きな公園をつくる ●土手をおしゃれにしてデートスポットになるとよい(◎1●4) ・土手をもっとおしゃれに、デートスポットに
	●利用者に応じてバーチャルな空間やリアルな空間を演出できる場があると良い(●1) ・バーチャル空間またはマッピング、貼紙（簡易）で空間を演出できる ・例えばカワスイのようなイメージ

	●個人や企業が関わりやすいしくみをつくる ・川崎・幸区のポイント制度を作り、個人、又は企業に還元
--	---

グループのまとめ		
土手が人の憩える場所になる ・水辺にベンチがあるだけでも良い ・デートスポットになったり、桜が植えられていたり、馬に乗れるなどのアクティビティがあると良い	河原町団地の建替タイミングで、暮らす人も周辺の人も集える場になると良い	既存施設をより活用するために、PRを強化したり、企業と連携を深めたり、多目的化をすることが大切

■ 5 グループ

グループ 意見交換①

5 地域の魅力的な将来像を考えよう

1) どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう
〔日常の楽しみや困っていることなど〕

2) 自分たちが考えた人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合おう

意見交換②

魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう

1) 地域の公共施設を生かしたアイデアを出し合おう

意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは幸区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
銭湯経営 ・老人のいこいの場所にする ・孫と一緒に交流の場 ・銭湯をイベント会場にする ・食事もできる	2人の子どもがいるシングルマザー ・休みの日は、地域のこども向けイベントに参加している ・育児支援サービスがもっと充実しているとよい ・休日の保育、家事代行	小学生 ・塾通いをし、才能を高めることも良いと思うが母との時間をもっと大切にしなければと思います ・老人との親睦も考えましょう
ペルソナ 4		
東京都内の企業で働く会社員 ・商業施設で食事、映画など ・地域住民との関係が希薄 ・近隣にどんな人が住んでいるか知らない		

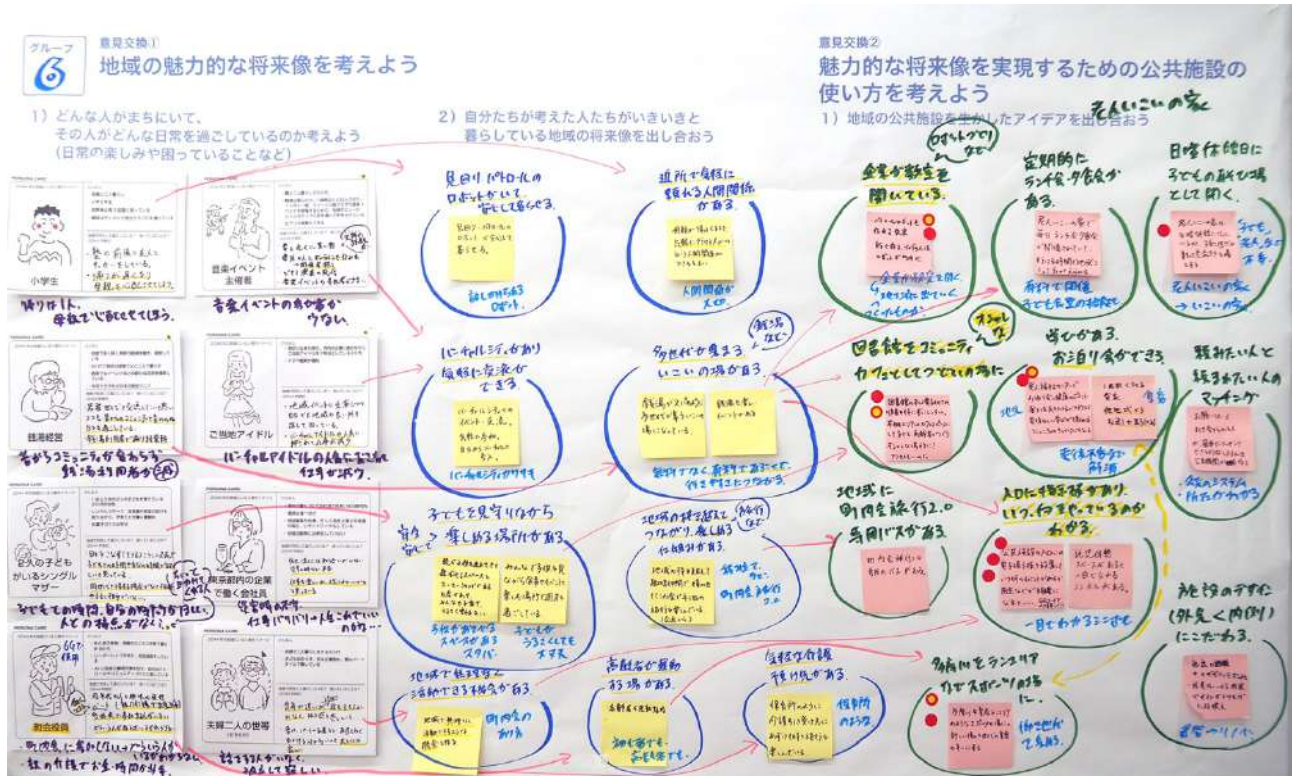
1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●誰でも気軽にふらっと寄れるような地域のスペースがある ・誰でもいつでもお話し合いのできる施設を早急に作ることが大切。生きがいを考える ・地域の集会所の高度利用。使う機会をもっと増やす ・子どもも利用できるようになっている ●子育て世代の交流の場がある ・子育て世代の方々の交流の場がある	●子どもだけでも集会所など利用できるように(◎1●1) ・地域の集会所などを、子どもだけでも利用できるようにする ●施設数は増やさなくてよいので、利用時間帯を長くして様々な人が使えるように ●老人いこいの家の利用時間をもう少し遅くまでにし若い人も使えるように(◎2●1) ・老人いこいの家を決まった団体が固定で使っていることが多い ・老人いこいの家が午後4時までしか使われないのはもったいない ・老人いこいの家のネーミングも検討必では？ ・老人いこいの家を若い人にも使えるようにする ・こ文の機能も入れると子育てママにとっては近くて便利になる ・トレーニングの機能も
	●公共施設を借りる場合の方法を明確にして広める ●廃校になった小学校のグラウンドもほとんど空いているので活用する ・廃校になった小学校のグラウンドが、平日のグラウンドゴルフくらいでほとんど使われていないのがもったいない

	●学校開放の申し込みをもっと一般に開放する(●4) ・地域によっては、学校開放が固定の団体がおさえられている場合がある ・町会が運営しているケースもある ・町会に入っていない人はどのように借りたらいいかもわからない ・もっと多くの人が学校開放の申し込み方法を知っていると良い ●トレーニングできる場所がもっとあるとよい(◎1●2) ・市民がトレーニングできる場所がもっと増えるとよい→健康寿命がのびる
●ベビーシッターや家事代行のサービスが安く気軽に利用できる ・ベビーシッターや家事代行のサービスが安く気軽に利用出来ている	
●年金に対する不安が少し減っている ・将来の年金受取に対する不安が少し減っている	
●銭湯が地域のコミュニティサロンのような機能をもっている ・銭湯では食事でもできたり地域のサロンのような場所になっている ・銭湯が子ども食堂の機能も担っている ・銭湯が町内の人のミニコンサート会場に	
●学校にワーキングスペースがあり、学校で様々な職業の人と接する機会がある ・学校内に社会人向けワーキングスペースが設置され、児童が多様な職業の人と接する機会がある	
●自治会の枠をこえてイベントに参加する ・自治会の枠を超えて参加可能なイベントが週末に開催されている	
	●宅配便の受け取り機能も ・公共施設の数が思っていたより多い→公共施設が宅配便の受取拠点になっているとよい

グループのまとめ		
老人いこいの家の利用時間をもっと遅くまでにして若い人も使えるようにする。ネーミングも検討が必要	学校開放や老人いこいの家の申し込み方法など、公共施設を借りる場合の方法を明確にして周知する	市民が気軽にトレーニングできる場所をもっと増やして、健康寿命を延ばす
施設数は増やさなくてよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるようにしていくことが大切 ・子どもだけでも集会所が利用できるなど		

■ 6 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは幸区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
小学生 - 塾の前後に友人とサッカーをしている - 帰りが遅くなり母親を心配させてしまう	音楽イベント主催者 - 妻と近くに買い物に行く（夫婦の距離近い） - 県外の人とオンラインで飲み会をして開催者を探している - ピアノ演奏の発信 - 音楽イベントの参加者が少ない	銭湯経営 - 若者世代と交流したいと思いつつも、昔からのコミュニティと変わらぬ日々を過ごしている - 銭湯利用者が減り経営難
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
ご当地アイドル - 地域イベントに出演しつつ、自分でも地域の良いところを探して回っている - バーチャルアイドルの人気に押されて仕事が減少	2人の子どもがいるシングルマザー - 日々をこなす（生きる）ことに必死で子どもとの時間や自分の時間が欲しいと思っている - 同世代と接する機会が少なく相談や話し相手がいない	東京都内の企業で働く会社員 - 住まい近くには知り合いがおらず、災害の時など不安 - 仕事も楽しいが、人生これでもいいのかなと思っている

ペルソナ 7	ペルソナ 8	
町会役員 ・ 同年代の人と趣味の旅行 ・ パート（親の介護でお金必要） ・ 町内会に参加する人がいない ・ どういう人が住んでいるかわからない	夫婦二人の世帯 ・ 定年が近いが、近所に話をする人がいなく、孤独感を感じている ・ 妻は、パートの友達など、友達も多く出かけることが多いので、夫としては寂しい	

1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●見回り、パトロールのロボットがいて、安心して暮らせる ・ 話しかけられるロボット	●企業がロボットづくりなどの教室を開いている(◎1●1) ・ パトロールロボットを作る ・ 作ったロボットは地域に出ていく
●銭湯など多世代が集まる憩いの場がある ・ 銭湯がスパのように多世代が集ういきいきの場になっている ・ 銭湯で楽しいイベントがある ・ 無料ではなく有料であることで、行きやすさにつながる ●子どもを見守りながら安心安全に楽しめる場所がある ・ 子どもが遊べるスペースがあるスタバ ・ みんなで子育て、うるさくしても大丈夫	●老人いきいきの家において、定期的にランチ会、夕食会がある ・ 有料で開催する ・ 行ける時間に参加することで新たなコミュニティができる ・ 子ども食堂の機能も持たせる ●図書館をおしゃれなコミュニティカフェとしてつどいの場にする(◎1●1) ・ 図書館の本は電子化されて順番を待たずにレンタルすることができる ・ 本棚エリアをカフェスペースにする ・ アクセスの良さを活かす ●老人いきいきの家を日曜休館日に子どもの遊び場として開く(●1) ・ 「子ども」「老人」などのくくりは不要（老人いきいきの家→いきいきの家が良い）
●近所で気軽に頼れる人間関係がある ・ 母親が帰ってくるまで、気軽に行ける人がいるという人間関係ができると良い ・ 人間関係が大切	
●バーチャルシティがあり気軽に交流ができる ・ 気軽に参加することができる ・ 自分からバーチャルに参入する ・ バーチャルシティカワサキ	
●地域の枠を超えてつながり、楽しめる仕組みがある ・ 旅行など ・ 積み立てたお金で年に1会の旅行を楽しむ ・ 町内会旅行 2.0	●地域に町内会旅行 2.0 専用のバスがある

・趣味仲間でつながる	
●気軽な介護の預け先がある ・保育所のような預け先がある	
●高齢者が運動する場がある ・初心者でも、高齢者でも運動できる	●多摩川をランエリアなどスポーツの場に(◎1●1) ・働き世代の集客のキーにする
●地域で無理なく活動できる機会がある ・町内会の新しいあり方	●入口に掲示板があり、いつ何をやっているのかがわかる(●3) ・公共施設の入口には電子掲示板を設置して、いつ何のイベントが有るか用途などが明確になると良い ・QRコードでより詳しく ・電光掲示板など、一目でわかるシンボル
	●学びのあるお泊り会ができる(◎1●1) ・お泊り会を通じて老人福祉センターで健康のポイント、気をつけるべき食生活など老後らしい学びが得られる ・老後不安などの解消、コミュニティのきっかけにする ・他地域からお試しで暮らせることで、まちの集客につながる
	●頼みたい人と頼まれたい人のマッチング ・頼みたい人と引き受けられる人が簡単にマッチングできるようなシステムを公共機関がつくる ・公共のシステム ・その人の所在がわかると良い
	●施設のデザイン(内装)にこだわる ・施設のデザインをおしゃれに ・デザインがよければインスタ映えする ・建替えよりもリノベが良い

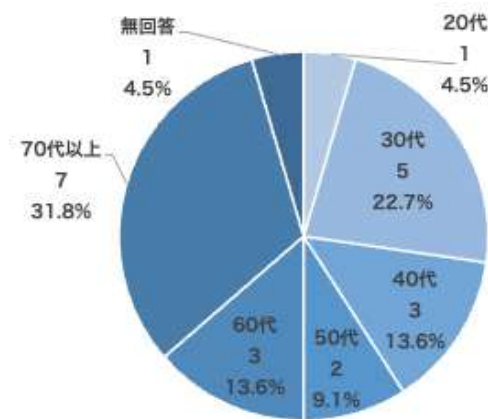
グループのまとめ		
多世代が集まる場、見守りながら集える場が必要…「図書館をおしゃれなコミュニティカフェに」	多世代が集まれる場、企業と地域を結ぶ場が必要…「企業と連携して、教室が開かれる」 ・見守りロボット教室	外から人を呼び込む仕組みとして… 「多摩川エリアを集いの場に」 ・ランエリアとしてブランディングする
気軽に出入りできる場がわからない…「入口に何をやっているのか一目でわかるシンボル、掲示版がある」		

幸区 | ワークショップアンケート結果まとめ

参加者 22 名、回答率 100%

1. あなたの年代に○をつけてください

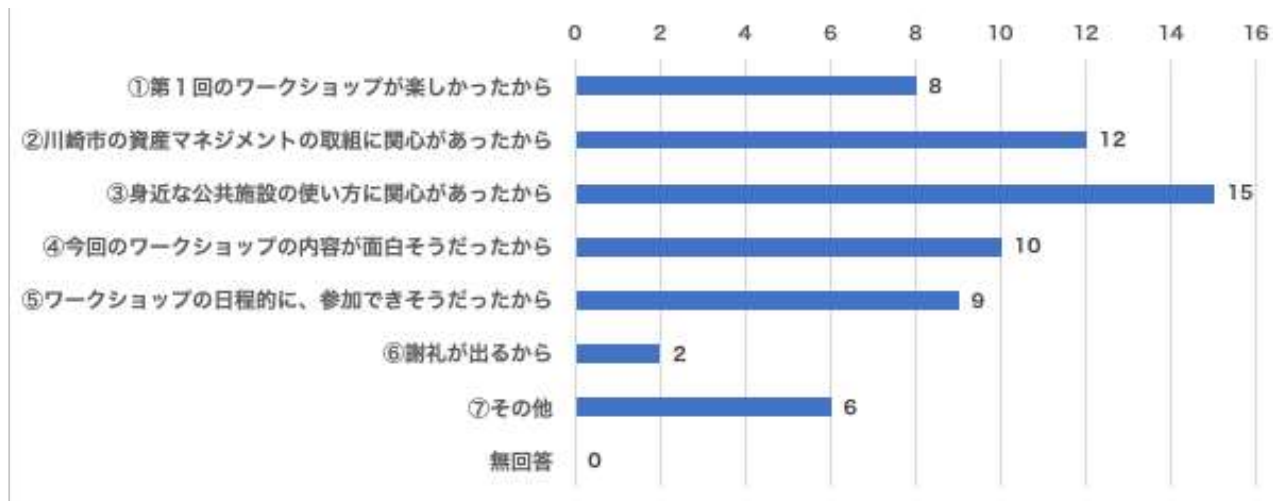
10 代	0	0.0%
20 代	1	4.5%
30 代	5	22.7%
40 代	3	13.6%
50 代	2	9.1%
60 代	3	13.6%
70 代以上	7	31.8%
無回答	1	4.5%
計	22	100.0%



2. 今回のワークショップへの参加を決めた理由は何ですか。（複数回答）

「身近な公共施設の使い方に興味があったから」、「川崎市の資産マネジメントの取組に興味があったから」、「今回のワークショップの内容が面白そうだったから」の順に回答が多かった。

①第1回のワークショップが楽しかったから	8	12.9%
②川崎市の資産マネジメントの取組に興味があったから	12	19.4%
③身近な公共施設の使い方に興味があったから	15	24.2%
④今回のワークショップの内容が面白そうだったから	10	16.1%
⑤ワークショップの日程的に、参加できそうだったから	9	14.5%
⑥謝礼が出るから	2	3.2%
⑦その他	6	9.7%
無回答	0	0.0%
計	62	100.0%



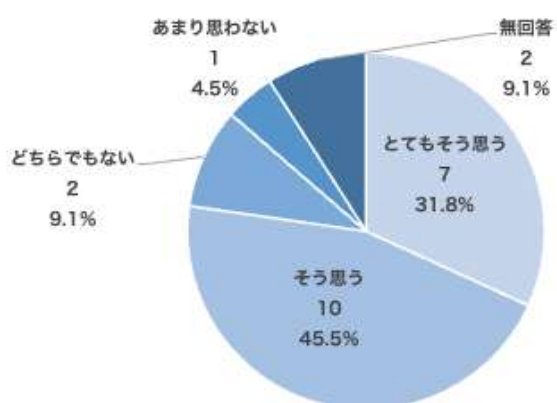
「その他」の記載

- ・ 前回のワークショップを受け、住んでいる方々が真剣にまちづくりのことを意識している様を肌で感じ、またやってみようと思ったから
- ・ 様々な意見、幸区、川崎区の考えを聞けるから
- ・ 地域活動への参加
- ・ 他の方々の住民目線の意見、アイデアを聞きたかったから
- ・ 盛り上がるムードをつくる
- ・ 日程と時間帯が参加しやすかった

3. 第2回のワークショップを通じて、モデル地域のことについて理解できましたか？

「とてもそう思う」が30%超、「そう思う」が50%弱と、8割近くの方が理解できたと回答した。

とてもそう思う	7	31.8%
そう思う	10	45.5%
どちらでもない	2	9.1%
あまり思わない	1	4.5%
全く思わない	0	0.0%
無回答	2	9.1%
計	22	100.0%



○をつけた理由をお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・ 今回のイントロでの年齢別の人口動向や地域特色は示唆に富むものでのちの議論の指針となった
- ・ 見やすい資料で人口動態や高齢化率等が分かり、地域の課題が理解できたので
- ・ 人口動態、施設一覧、特徴などの資料として整理されている情報がわかりやすかった。・ 同じグループの方々からの発言から過去のまちの経緯も含めて知ることができた
- ・ 人口増減や年代構成、多摩川に面していること、企業が多いといった地域資源を再確認できました
- ・ 議論について話題がそれぞれに話せた
- ・ 他の人の意見が具体的に聞け、集約されていく過程がとても参考になった

○「そう思う」理由

- ・ グループ討議内での意見交換で確認できた
- ・ 起業しやすいまちにして、若者や企業を集めるなど、もっと斬新で今からでもできることがありそうだと感じた。
- ・ 地域資源はかなりある
- ・ 勉強になった
- ・ 実感としてあった点について、資料等でその通りの結果が出ていたので
- ・ 具体的な施設や課題について考えることができた
- ・ 今後の発展を考えることができた
- ・ 考えることが出来ない施設を他の目的に利用できることが理解できました

○「どちらでもない」理由

- ・ 昨年越してきたばかりなので、地域や立地がまだ実感が湧かない部分もあるが、今回のワークショップでどんな地域なのか、なんとなく分かることができたので、どちらでもないにした

○「あまり思わない」理由

- ・ 生活していくうえではあまり意識しない大企業や少し遠くのエリアの話があり、自分の地域のこ
ととして考えるのが難しい時もあった

4. 「ペルソナ」を通じ、モデル地域の魅力的な将来像や施設の使い方を考えることができましたか？

「とてもそう思う」40%超、「そう思う」が40%弱と、8割近くの人が考えることができたと回答した。

とてもそう思う	9	40.9%
そう思う	8	36.4%
どちらでもない	2	9.1%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
無回答	3	13.6%
計	22	100.0%



○つけた理由をお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・ペルソナの具体的な家族像、将来像がリアリティに富むもので現実感のある提案につながったと思う
- ・様々な世代や立場の方が持っている関心ごとに興味があったので
- ・ファシリテーターが良かった。スライドを使っでの説明もわかりやすかった
- ・既存施設の改善点や思わぬ使い方が出てきて良かったです
- ・どういうまちになってほしいかをペルソナに重ねて考えられました
- ・20年後の自分と同年代のペルソナだったのでリアルだった
- ・幸区の地域的独自性が新たに発見できたと同時に多摩川という素晴らしい資源の魅力に新たに気がつけたことがとても良かった

○「そう思う」理由

- ・居住者の動向も示されていたため、より未来像がわかった
- ・様々な立場になって考えることは公共という面から大事だと思う
- ・区民として当然
- ・ペルソナになって思いを巡らすことで自分ごとに落とし込んで考えることができたため
- ・他の方の意見をきいて自分とは違う視点に気づき、とても勉強になった
- ・人口が減る時にいろいろな利用ができる施設があることに感心させられました
- ・悩んでいろいろ考えたり、他の方の意見も聞いたりして、すごく刺激になったし、施設や未来について考えることができた。もっといろんな意見を知りたい

○「どちらでもない」理由

- ・施設の使い方という切り口は議論が少なかった
- ・アイデアをあまり出すことができませんでした

5.次回に向けたご意見や、本日参加した感想などご自由にお書きください。

○有意義な話し合いができた。参考になった

- ・実施施設を検討材料にするのはとても良いことだと思います。それが計画に反映されるのだと思うと気が引き締まります。
- ・幸区の未来について、有意義なディスカッションができました。ありがとうございました。
- ・住民目線の声を私も聞けて大変参考になりました。
- ・2回目からの参加でしたが振り返りから入っていただけて馴染みやすかったです。ファシリテートもスムーズで良かったです。
- ・他の班の意見もとても参考になりました。
- ・高齢者になり、これから利用させて頂くことが多いと思う時にこのワークショップに参加することが出来て幸せです。
- ・今回参加して、うまく考えられるか少し不安だったが、いろんなことを考えることが出来て良かった。また次回参加していろんなことを知ったり考えたりしたい。そしてお役に立てられたらと思う。

○公共施設一覧の資料がよかった

- ・最後に頂いた公共施設一覧が実は区民として最もほしいパンフレットだったと言えます。

○学校以外の施設の使われ方について知りたい

- ・短冊にしたもので実際に動いているものが学校以外にもあったら知りたい・学校というワードが多く出てくるのは学校以外身近な公共施設が無いからではないかと思った。

○ブランディングなどの視点も入れるとよい

- ・人口減や高齢化を前提にするだけでなく、都心に近いエリアなのでブランディングと働く世代の集客に目を向けた公共施設のあり方という視点も入れていただけたら、発展するエリアになりそうで嬉しいです。

○20代が少ないのは寂しい

- ・前回のアンケートの結果、20代が自分しかいないことに気がつき、寂しかった（笑）

○区のビジョンを知りたい

- ・区の行政サイドがどのようなビジョンを持っているのか知りたい。

○三連休は避けた方がよい

- ・三連休は避けて開催していただけると欠席者は減ると思います。